

多読クラブ会員の皆様へ

書籍追加、その他のお知らせ（2007年、新春号）

●子供探偵 Nate the Great シリーズは現在 22 巻。よみやすさレベルでは 1.5~2.5 です。その中の 8 冊に読み上げ CD をつけました。ノーマルスピードで読まれていますのでリスニングやシャドーイングの練習にも良し。これまでに Nate にチャレンジしてしまひとつ、よくわからなかった。。という人は「聞き読み」にチャレンジしてみてください。1 冊 12 分~25 分くらいです。CD は本に挟んだままで本棚に入れます。以下 8 冊。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1, Nate the Great | 2, Nate the G. Crunchy Christmas |
| 3, Nate the G. the Halloween Hunt | 4, Nate the G. The Monster Mess |
| 5, Nate the G. The Phony Clue | 6, Nate the G. Missing Key |
| 7, Nate the G. Snowy Trail | 8, Nate the G. Goes Undercover |



●ジャパントイムスの「Junior」購読開始（隔週刊）

現在ジャパントイムス社の週間 Student Times を入れていますが、難しすぎるのか、あまり利用されていません。確かに名前（スチューデントタイムス）のわりには高校生や大学生にはレベルが高すぎて読めないでしょう。そんな声を反映したのか、2006 年の夏、もっとやさしい隔週刊の英字新聞（でもかなり日本語が多い）が出ました。中 3 生でも読めるとのこと。。



「おバカ系」の傑作 Captain Underpants 続編 4 冊入荷。第 1 巻を入れたところ、数名の方からリクエストをいただき、続編 5 巻まで追加しました。1 巻は 2 冊ありますので、これから読まれるかたは、1 巻だけは先に読まれることをお勧めします。半分以上が絵で、最新のアニメ技術 Flip-O-Rama が文学史上初めて導入されています（これもかなり、ばかげているのだが。。）SSS の書評では読みやすさレベル 4.5 となっていますが、絵が多いのと会員さんのご意見で、3.5 に落としました。

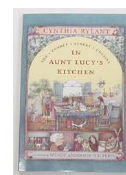


- Captain Underpants and the Attack of the Talking Toilets YL:3.5 総語数：6200
- Captain Underpants and the Invasion of the Incredibly Naughty Cafeteria Ladies from Outer Space YL:3.5 総語数：5800（このタイトル長すぎ）
- Captain Underpants and the Perilous Plot of Professor Poopypants YL:3.5 総語数：6400
- Captain Underpants and the Wrath of the Wicked Wedgie Woman YL:3.5 総語数：8800

●In Aunt Lucy's Kitchen YL：2.5 総語数：4000

ほのほの系でおなじみの作家 Cynthia Rylant 作、The Cobble Street Cousins シリーズの 1 巻目です。読まれた方で続編希望がありましたらリクエストしてください。

両親が仕事で留守をするため、おばの家に預けられた 3 人のいとこ同士（うち 2 人は姉妹）の少女達のお話。夏休み、少女達はクッキー・カンパニーをすることにしました。さて、その配達先で出会ったのはどのような人々だったのでしょ。あたたかいまなざしで人々を描いたシリーズ。



English Zone Vol.23 Y.L. 3.5 総語数:28000

日本人英語学習者向けの英文雑誌です。今号ではビルゲイツ、カルロスゴーンをはじめ、日本の有名人とのインタビュー記事も多いです。すでに背景のわかっている記事については、とばし読みで理解できるでしょう。無理に全部読もうとせず、興味のあるものだけ拾い読みするのをお勧めします。読み上げ CD 付き。ネット上で全記事の日本語訳が公開されています。



Henry & Mudge シリーズに 4 巻追加これで全 22 巻がそろいました。1 月中は全巻、実籾駅前教室に入れますが、2 月頃には習志野台教室に移動します。

- Henry & Mudge in the Family Trees YL:1.2 総語数 1300
- Henry & Mudge and the Wild Wind YL:1.2 総語数 1300
- Henry & Mudge in the Green Time YL:1.2 総語数 800
- Henry & Mudge in Puddle Trouble YL:1.2 総語数 1300



●The Client YL:4.0 総語数 12000(PGR4) と DVD

貧しい少年マークは、上院議員暗殺嫌疑のあるマフィアの弁護士の自殺現場を偶然目撃し、FBI に証言を求められる。マークは女性弁護士に助けを求める。

現在アメリカで、初刷が最も多い人気作家、それがジョン・グリシャム。最近では著作の新刊部数は 280 万部に及んでいる。その法廷ミステリーの面白さは、長年の弁護士体験、2 期務めたミシシッピ州下院議員体験に裏打ちされた、アメリカ社会の裏の現実が見事に描かれているところにある。



Amanda Pig と Oliver Pig の豚シリーズに 2 冊追加で、これで全 8 巻そろいました。

●More Tales of Amanda Pig YL:1.4 総語数 1900

ぶたの Amanda ちゃんがおにいちゃんの Oliver くんとおとうさん・おかあさんごっこをしています。自分がいつも言われていることを赤ちゃんに向かって言う Amanda ちゃんが微笑ましい。この巻はとりわけおとうさんもおかあさんも素晴らしい！



●Oliver and Albert, Friends Forever YL:1.1 総語数 1100

ぶたの Oliver くん クラスに転校生がやってきました。背が高く、先生の質問には何でも答えられる Albert くんです。でも、Albert くんにも苦手なことがありました。お互いの得意なことを教えあいながら成長していく Oliver くん と Albert くん が微笑ましいです。

●英語は「多読」中心でうまくいく (日本語)

多読応援の本です。酒井先生が従来の学校英語や学校文法をほぼ完全に否定しているのに対して、この本は「学校英語も大切」と立場で、そのぶんわかりやすく、賛同しやすいかもしれません。ちょっと指導者向けの内容でもありますが、本気で英語力をつけたい方に一読をお勧めします。



●James and the Giant Peach (DVD)

ロアルドダール作 James and the Giant Peach の映画 DVD です。本のほうは YL:5.5 です。「やさしい英語でシャドーイングに適切」という評判を聞いて入れたのですが、きっとこのイギリス英語ってやつは、日本人には聞き取りにくいのだろうな。。。というのが私の感想です。チョコファクにしてもこれにしても、ダールのような空想的な内容は、本と映像とではかなりイメージが異なります。

